

小学校

s 1-9

時刻づくり

1 学年

【ねらい】

日常生活の中で時刻をよむことができる。

【特徴】

- ◇ 場面をクリックすると、一般的な時刻が表示されます。
- ◇ 長針、短針の関係の基礎を知ることが目的としており、どちらの針も30分間隔のみの表示設定になっています。

【関連する単元】

- ◇ 小学 2 年「時間の単位」
- ◇ 小学 3 年「時刻と時間」

【活用場面】 導入段階の課題提示、算数的活動の後の検証



時刻に対する関心を一層高めます

日常生活に関連する画像と関連させて時刻を提示することができるので、事象と時刻を一致させながら学習することができます。

- ◇ 絵から日常生活のどの部分にあたるかを話し合わせます。
 - ◇ その事象の時刻を児童それぞれが予想したあと、一般的な時刻を提示します。
- ※ 提示された場面だけでなく、その間にある出来事や時刻も発表し合い、指導者がまとめていきます。



長針と短針の動きについての理解を図り、時刻を読む喜びを味わわせます

針の表示設定が30分毎であることから、基本的な針の動きを捉えさせることに重点をおいた学習指導ができます。

- ◇ 上記に示した活動の中で出てきた時刻の中から一部抽出し、時計盤で表すことを課題とします。
- ◇ 表示の中に間違いを提示し、なぜ間違っているのかを話し合います。
- ◇ 短針が30分を表しているとき、長針は6を指していることをおさえ、長針が6よりも前にあるとき、後ろにある時の時刻を数例示します。